

令和2年2月18日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標 題	浜田市旭町梨生産組合で第3回勉強会を開催しました！
-----	---------------------------

(ダイジェスト)

これまで生産組合としての活動がなかった旭町梨生産組合で、今年度から初めて「勉強会」を開催しています。

第1回の「実証ほ見学」、第2回の「視察研修」に続き、第3回は梨の害虫と農薬について講習会等を開催しました。

旭町梨生産組合は、3 法人と 6 戸の生産者で構成され、浜田市旭町山ノ内団地で梨の栽培に取り組んでいます。品種は、幸水・豊水を中心とした赤梨を栽培しており、平成元年から広島市等へ出荷されてきました。

昨年度、改植事業の説明会の場で生産者から、「生産組合としての活動がない」「外部からの情報が入ってこない」といった意見を受けて、「勉強会」を年3回開催することを今年度の農業改良普及指導計画に位置づけ、組合活動を支援することとしました。第1回の「実証ほ見学」(6月27日)、第2回の「視察研修」(10月8日)に続いて、このたび第3回を2月13日に浜田市旭山村開発センター会議室で開催しました。

当日は、5 経営体の 9 名と関係機関(浜田市、JA いわみ中央地区本部)が出席しました。まず、当普及部から今年度の生産実績等を報告した後、「梨の害虫と農薬について」と題し、島根県農業技術センター資源環境研究部病虫科の担当研究員を講師に、講習会を開催しました。

今年度は、豊水を中心にシンクイムシによる被害で出荷量が減少したため、シンクイムシ類の話を中心に、ハマキムシ類、カメムシ類、ハダニ類の生態や効果的な防除方法について説明を受けました。質疑応答では、害虫や農薬について様々な質問が出るなど、有意義な勉強会となりました。

勉強会後のアンケート調査では、「害虫の生活環の話や、効果的な防除方法の話が参考になった」「暖冬の害虫対策の注意点が参考になった」などの感想が寄せられました。

今年度の勉強会は終了しましたが、今後も関係機関と連携して生産者の支援を継続して行っています。



【講習会の様子】